

### 残りの日々を有意義に

今シーズン最強の寒波が訪れた先週から今週にかけて、強い冷え込みが続く、登校してくる子供たちは、マフラーや手袋を身にまとい、首をすぼめながら歩いています。さらに、校内ではインフルエンザがまん延し、学級閉鎖をするクラスも出てきました。まだまだ寒い日が続きますので、引き続き、手洗い、うがい、マスクの着用などを呼び掛けていきたいと思ひます。



さて、明日で1月が終わり、いよいよ2月、今年度も残り2か月になりました。学年の締めくくりの3学期は、次の学年に向けての大事な期間です。子供たちはこれまでの成長を振り返り、次の学年に向けての具体的な目標を立て、取り組んでいます。すぐにできる目標やとても手に届きそうにない目標ではなく、コツコツと努力を積み重ねていけばできる目標を見つけて、大きく成長してほしいと願っています。是非、ご家庭でもお子様の頑張りを励ましていただけますよう、よろしくお願ひいたします。2月は今年度最後の授業参観日が予定されています。この一年のお子様の成長を是非、ご覧いただくようお願いいたします。

### 児童会や委員会での取り組み

朝、正門で児童会の子供たちを中心にあいさつ運動が広がっています。3学期からは、新たに「えがお いっぱい」という青色のタスキを肩からかけ、大きな声で元気にあいさつをしています。

また、2月には卒業する6年生へ感謝の気持ちを込めた「ありがとうの会」が計画され、準備が進められています。1年生から5年生まで、気持ちを込めた温かい会になるよう、準備が進められています。

いよいよ5年生が6年生から児童会や委員会をバトンタッチし、自分たちの手で活動を行っていく時期となりました。憧れの6年生の背中を追いかけ、主体的に活動していってほしいと思ひます。



### 2月の主な行事計画

日	曜日	行事	日	曜日	行事
3	火	授業参観・懇談会 (高・6、7組)	11	水	建国記念日
			15	日	家読の日
6	金	授業参観・懇談会(低)	16	月	あいさつ運動
10	火	藤枝市児童生徒図工美術展 (10日～17日)	23	月	天皇誕生日
			25	水	6年生ありがとうの会

### 体罰実態調査のお願い

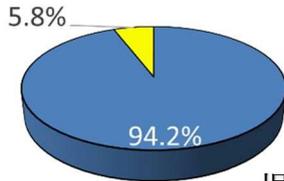
学校では、教育活動の中、どんな場合においても教師の子供への体罰を禁止しております。万が一、指導の行き過ぎでそのような場面があったとしても、それは許されることではありません。もし、そのような情報がある方は、教頭までご連絡ください。

## 令和7年度 青島東小学校「学校生活アンケート」の結果報告

今年度、児童・保護者に実施したアンケート結果を分析しましたので、ご報告します。このアンケート結果から見える成果と課題を踏まえ、来年度の教育活動を計画していきます。

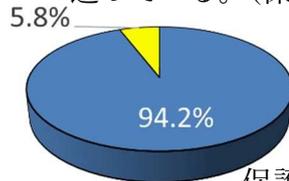
 あてはまる  あてはまらない

### 1 学校が楽しい (児童)



児童

お子さんは楽しく学校に通っている。(保護者)



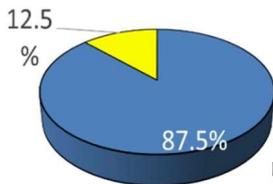
保護者



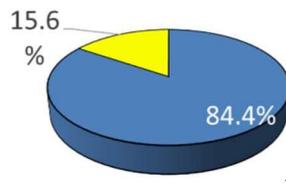
「学校が楽しい」「子供は楽しく学校に通っている」と感じている子供・保護者の割合が、高い数値を示しています。「笑顔あふれる学校づくり」に向けて、引き続き一人一人の子供に寄り添い、学校が安心できる場所となるように支えていきます。

一方で、「楽しくない」と感じている子供が一定数いることも事実です。「学習に不安がある」「友達との関係が心配」など学校に対して不安を感じていることが挙げられました。その思いに寄り添い、少しでも課題や不安が解消できるように、学校体制で取り組んでいきます。

### 2 自分で考えてよりよい行動ができる



児童

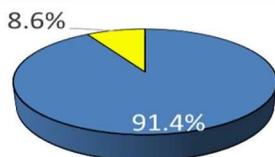


保護者



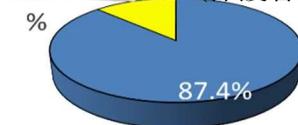
「自分で考えてよりよい行動ができる」と感じている子供・保護者の割合が高い数値を示しています。学校では自らチャレンジする子を育てたいと考え、行事や学級活動、ペア活動などを取り入れてきました。そうした活動を経て、子供自身ができたことを価値づけ、成長を実感できるように取り組んできた成果と捉えています。今後も子供の活動を支え、自分自身で行動できるよう、一人一人の子供と関わっていきます。

### 3 授業がよくわかる (児童)



児童

お子さんは授業の内容を理解している。(保護者)

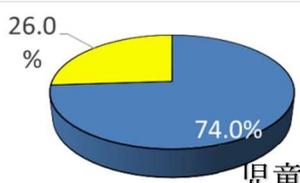


保護者

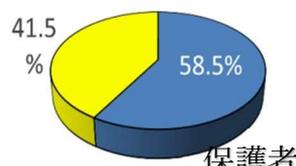


研修テーマ「聴いて考えつなげる授業」をめざし、「共生の学び」と「確かな学び」を大切に、日々授業づくりに努めてきました。子供たちは仲間の意見を聴き、自分の意見と比較しながら考えることを通して、学習の理解を深めました。今年度も、各学級において目指す授業の姿を教師と子供たちで確認をし、学期末などの振り返りでは、目指す授業の姿に立ち返り、次の学びへと生かすようにしました。今後も、仲間と協力しながら自らの力で課題を解決していくことで、「わかった、できた」と実感できることを大切にした研修に、学校全体で研修に取り組んでいきます。また、園との接続や小中一貫教育により、子供たちの学びをつなげていきます。

### 4 「家読」<sup>うちどく</sup>をしている



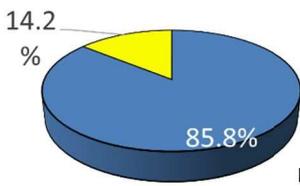
児童



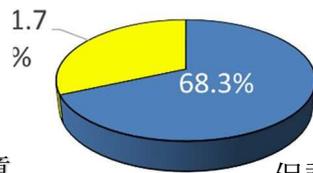
保護者

学校では学校図書館司書やボランティアの方々が中心となり、図書室の環境を整えたり、読み聞かせを行ったりと子供たちが本に興味をもてるようにするための活動を行っています。そうした活動を通して子供たちが学校でも家でも本をより楽しめるようにしていきます。合わせて、ご家庭でも「家読の日」を中心に本を読む機会を設けていただくようご協力をお願いいたします。

5 おはよう・こんにちは・さようならのあいさつが自分からできる (児童)  
 お子さんは、家庭や地域であいさつが自分からできる (保護者)



児童

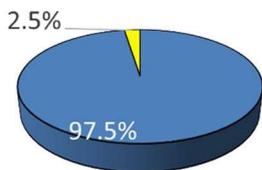


保護者

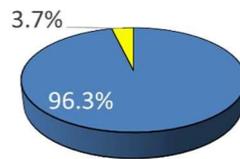


毎朝、児童会や学級委員、あいさつボランティアが中心となってあいさつ活動に取り組んでいます。さらに、児童会が、青島小や青島中とあいさつについて意見交換を行うなど、気持ちの良いあいさつについて考える機会となりました。また、「あいさつからはじまる自分づくり絆づくり」を掲げ、学校運営協議会の方々による朝のあいさつ運動も行われています。中学生も東小でのあいさつ運動に参加し、地域ぐるみであいさつに取り組んできました。これからも、家庭・地域・学校及び様々な場であいさつができることをめざして取り組んでいきます。

6 友だちと仲良く生活する (児童)      お子さんは友だちと仲良く生活している (保護者)



児童

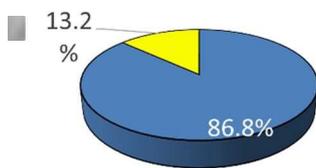


保護者

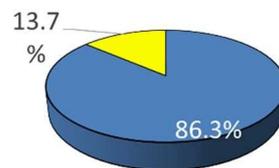


「友だちと仲良く生活している」と感じている割合が、子供・保護者ともに非常に高くなっています。学習や生活、行事等を通して、子供同士がかかわりあう場を大切にし、その良さを価値づけることを大切にしている成果だと考えます。今後も、子供たちがより良い人間関係を育むことができるように、ピア・サポートの心を大切にし、相手意識を高め、あたたかな心が育めるよう支援していきます。

7 優しく話すことができる (児童)      8 あたたく聴くことができる (児童)



児童

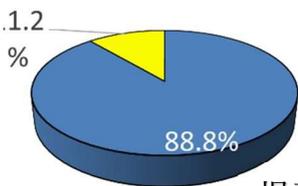


児童



「あたたかく聴く やさしく話す」は、本校の合言葉として浸透しています。授業では、子供たちが相手に伝わるような話し方ができるよう指導しています。聴いた内容を理解する力、聴いた内容をわかりやすく説明する力も育てています。その姿は授業だけでなく、生活や行事等、学校生活全体で大切にしてきました。今後も、本校の子供たちの良さである相手を大切にして聴いたり伝えたりする姿、そして自分の思いを本音で語る姿を育てていきたいと思えます。

9 自分には良いところがある (児童)      お子さんは、自分には良いところがあると感じている (保護者)



児童



保護者



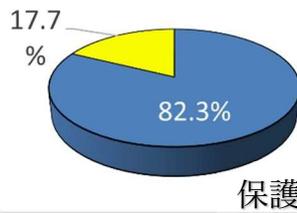
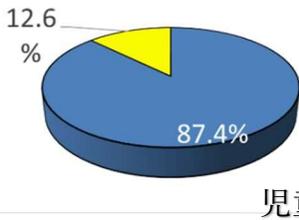
アンケートでは児童、保護者ともに90%近くの子供が自分の良いところに気づいています。その良さを実感したり、認められたりする経験をたくさん積み重ねることで、自分に自信をもって様々な活動に取り組めるように支援していきます。一方で、自分の良さを見出していない子供も一定数います。教師が認めるとともに、ピア・サポート活動など子供たちには仲間の良さを意識できる活動や振り返りの場を設定していきます。地域や家庭においても、あたたかな声かけを通して、子供たちが自分の良さを再認識できるよう、ご協力をお願いいたします。

10 友だちの良いところを見つけている (児童)



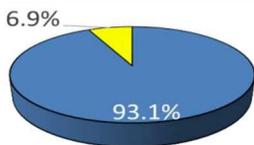
教育活動全体を通して、ピア・サポートの取組を進めています。友達とのかかわり方を学んだり、帰りの会や昼の放送等、友だちの良さを伝える時間を意図的に設けたりする取組を通して、「あたたかな心を実感する」こと大切にしています。

11 困った時に相談できる先生がいる (児童) 学校には困った時に相談できる先生がいる (保護者)



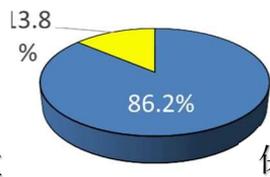
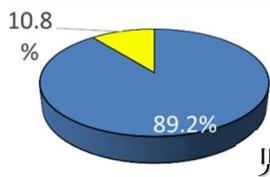
自分自身の力で、あるいは友達と協力して課題や困難を解決する力を養いながら、必要な時には大人が子供の目線に立って寄り添うよう努めています。どんな時も子供を中心に、子供が安心・安全に学べる学校、保護者や地域の皆様にとっても相談しやすい学校であるよう、一層努めていきます。

12 学校のきまりや約束を守ることができる。



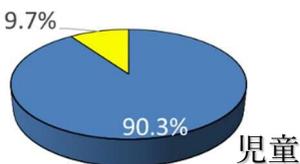
非常に多くの子供たちが、学校の約束や決まりを守ることができるという回答しています。引き続き、きまりや約束が作られた意味を確認し、子供たちが自治を意識して行動することができるように支援していきます。

13 週5日以上、家で勉強している (児童・保護者)



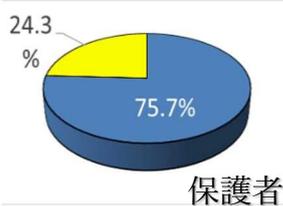
家庭での学習習慣が身についている子供の割合は高いと言えます。保護者の皆様が家庭で学習の見届けや支援をしてくださることで、習慣として子供たちに定着している成果だと言えます。今後も、保護者の皆様にご協力いただくとともに、ICTを活用しながら一人一人に合わせた内容等、子供が学習を自ら進めることができるよう啓発していきたいと考えています。

14 そうじはだいじ(だまって、いっしょうけんめい、じかんいっぱい) ができている。



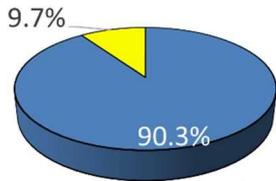
子供たちは週2日のそうじの時間を大事にしていることがわかります。学校では、そうじ道具の使い方を含め、そうじの仕方などを確認し、積極的に取り組めるように声かけをしています。ご家庭でもお手伝いなどを通して、よりそうじに対する意識を高めていけるようお願いします。

15 ゲーム機、スマートフォン、パソコン等を家の人との約束を守って使っている。(児童・保護者)



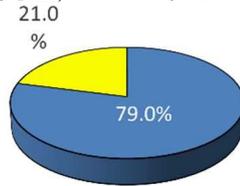
90%近くの子供たちが約束を守ってスマートフォン等を利用できていると回答しています。今年度も高学年を中心に、外部講師を招いて情報モラル講座を行いました。インターネットを利用する際の危険性を理解し、学習などに上手に活用できるように意識を高めていきたいと思ひます。ご家庭でも、利用の仕方について今一度確認をお願いします。

16 夢や目標を持っている。(児童)



児童

お子さんは夢や目標を持っている。(保護者)

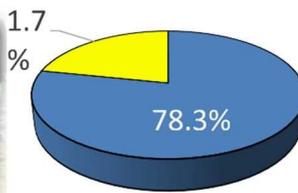


保護者



90%以上の子供が、夢や目標を持っていることがわかります。学校では、キャリア教育等を通して、子供が自分の夢や目標に向かって生き生きと活動し、自分の成長を実感できるようにサポートしています。

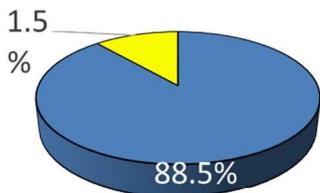
14 お子さんは子供会や地域の行事に進んで参加している。(保護者)



保護者

地区の行事や活動を通して、地域のつながりの中でも子供たちを育んでくださっています。子供たちが地域の活動に参加することによって、地域に愛着をもち、地域に貢献できる人へと成長していくと考えます。人と人のつながりを大切にできるように、学校でも地域の活動への参加を促していきます。

15 学校は授業や学校行事など、保護者や地域に開かれた取り組みをしている。(保護者)

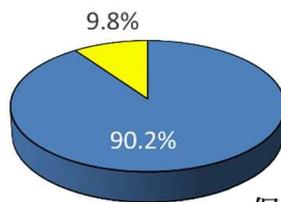


保護者



今年度も学校サポーターズクラブやそうじボランティア、図書館司書ボランティアなど、多くの皆様が、学校に協力してくださいました。そのような活動に積極的に参加して下さる皆様のおかげで、子供が学習しやすい環境が整っています。今後も、学校運営協議会をはじめ、地域の皆様のお力をお借りしながら、地域・家庭と共にある開かれた学校づくりに努めます。

16 学校は学校だよりや学年だよりなどで、学校での子どもの様子を伝えている。(保護者)



保護者



今年度も、学校だよりや学年だより等で、子供の様子を伝えさせていただきました。特に、学校だよりは「さくらメール」で配信することで、適切なタイミングでいつでも閲覧できるようにしています。今後も様々な方法で、学校の状況や子供たちの様子を伝えていけるよう、努めていきます。

児童、保護者、職員に実施したアンケート結果を見ると、例年と同等またはそれ以上の数値が示されている項目が多くみられました。地域・保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、子供たちは、日々の活動に取り組んでいます。ありがとうございます。  
来年度に向け、今年度の活動を振り返り、学校教育目標「笑顔あふれる学校」をめざして、職員一同、力を合わせ取り組んでいきたいと思っております。引き続き、学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。